

医療事故調査教育セミナー2025

— 医療事故に関する情報共有・広報・説明の実態と注意点 —

(会期) 視聴期間 2025年2月21日(金)～4月18日(金)

(会場) オンデマンド(録画視聴)

(主催) 国際医療リスクマネージメント学会

(対象者) 統括医療安全管理者、医療安全管理者、臨床リスクマネージャー、医薬品安全管理者、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、臨床工学技士、放射線技師、歯科衛生士、その他の医療従事者。

(趣旨) 厚労省では全国の医療施設に対して医療事故調査の発生時に院内における医療事故の原因調査を義務化しました。本教育セミナーは医療事故調査の実施における深刻な悩みの解決方法を講義します。

また、下記の資格制度の必須科目でもあります。

学会認定「医療安全高度専門家」資格、学会認定「医療安全アドミニストレーター」資格、

学会認定「医療安全コンサルタント」資格
参加者には受講終了書を発行します。

プログラム

【 イントロダクション 】		
30分	医療事故の取扱いにおける注意点	藤田 真幸 (慶應義塾大学 医学部法医学教室教授)
【 特別企画① 】インシデント・アクシデント報告の実態		
40分	インシデントアクシデント報告とその対策 - インシデント報告を増やすには	齊藤 正昭 (自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部長・医療安全管理室長・准教授)
40分	インシデントアクシデント報告とその対策 - 対応と活用方法	石井 康介 (日本医科大学付属病院 学生部長・外科学(心臓血管外科学) 大学院教授)
【 特別企画② 】医療事故調査の組織と機能		
60分	医療事故院内調査をどのように進めるか	菊地 龍明 (横浜市立大学附属病院 安全管理部長・診療教授)
60分	医療事故調査—その注意点と対策	近本 寛 (熊本大学病院 医療安全管理責任者/医療の質・安全管理部長・教授)
【 特別企画③ 】広報の基準:どのような事故について、記者会見、WEB 広報等を行うか		
40分	医療機関における医療事故公表の基準	納谷 幸男 (帝京大学ちば総合医療センター 安全管理部長・泌尿器科教授)
60分	医療事故における記者会見、WEB 広報等を行う上での注意点	水沼 直樹 (弁護士 東京神楽坂法律事務所)
60分	家族は何を知りたいか、社会に知らせて欲しいか	勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会 世話人)
【 特別企画④ 】院内での周知の方法 (医療安全情報および緊急広報等)		
45分	医療安全情報および緊急広報等の周知の工夫と展望	中村 京太 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部長・診療教授)
45分	医療事故に関する情報共有・広報・説明の実態と注意	兼児 敏浩 (三重大学医学部附属病院 医療安全管理部長・教授)

参加申込締め切り: 2025年4月10日

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネージメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(Tel) 03-3817-6770 (Fax) 03-6801-6987

(電子メール) head.office02@iarmm.org